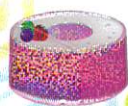


いよいよ2018年、最後の月になりました。年を取るごとに一年過ぎるのが早いと感じる方が多いのではないのでしょうか。12月になるとなおさら気ぜわしく、何かやり残した気持ちになります。皆様はいかがですか？

敬老の日に福岡市の115歳の方が本年世界一の長寿者としてギネスに登録されました。その方は明治・大正・昭和・平成・新元号、激動と言われる時代の流れの中で生きてこられたのだと思うと本当に驚くばかりです。

来年は元号が変わります。西暦とは違い、元号は日本独自の称号です。海外で生活された方は、事件や事故の説明をするとき西暦で〇〇〇〇年の〇月とすんなり答えています。純日本人の私は昭和とか平成とかで言われないとピンと来ません。政府やメディアも今後は西暦を主に使用するとの事なので、数字と出来事を連動して記憶して行かなければなりませんね。今から頭を切り替えて行きましょう。！



12月誕生日



おめでとうございます

松岡様	6日
高畑様	20日
高巣様	21日
福永さん	22日
立川様	30日
古川様	31日

歴史人物忌(命日)

漱石忌 夏目漱石 - 英文学者・小説家

1867年1月5日 生(慶応3年江戸時代) 1916年12月9日没
1893年東京大学英文科卒業後、松山中学校教師、第五高等学校教授、イギリス留学などを経て作家活動。代表作『我輩は猫である』『坊ちゃん』『草枕』『虞美人草』『三四郎』『それから』『門』『こころ』等

しゅんせい

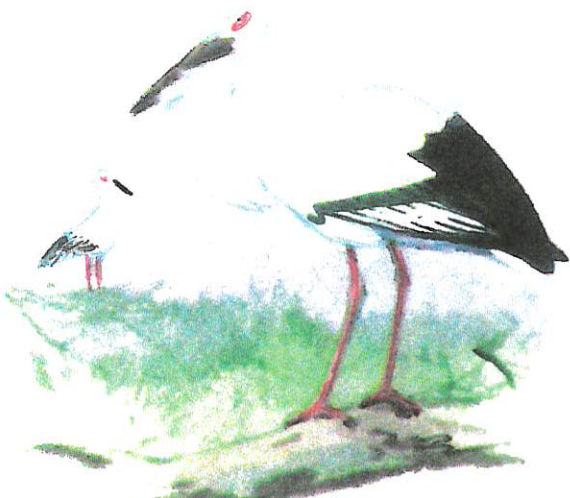
蕪村忌 (春星忌-訶) 与謝蕪村 - 画家・俳人

1716年日 生(享保1年江戸時代) 1783年12月25日没
画家・俳人として多くの雅号を持っているが29歳の時蕪村と改号。画人として大成したが俳人としても松尾芭蕉と並び称される。没後1周年忌に句集が刊行された。代表的な2句紹介します。
『菜の花や 月は東に 日は西に』
『春の海 ひねもすのたり のたりかな』

鶴(こうのとり) こうのとり目こうのとり科
羽毛は大部分は白く翼の先が黒
足が赤色(つるは黒)



あっ!たんぽに鶴が.....



コウノトリ(コウノトリ科) 一留鳥
日本最大の鳥、兵庫県と福井県に天然記念物として、少数が残っていたが、それも少なくなった(P.81, 130参照)。よく絵にある木にとまったツルは、コウノトリのあやまりである。大陸にもおり、ヨーロッパのはからだ小型で、くちばしが赤く、シュバシコウという。

11月12日 出勤途中、田圃で虫をついばんでいる鳥を見つけました。写真が取れなかったので朝日新聞筑豊支社にTEL。担当の方がすぐに現場へ向かい探して下さいました。「いました、六羽」しかし残念! 折り返しの連絡で「鶴ではなく こうのとりでした」とのこと。当社の営業所の隣の田圃でも見かけた事が有り、私はそのときから“鶴”と思い込んでいました。13日の新聞にカラー写真と記事が掲載され、固体識別足環がついている5羽は兵庫県で放鳥された鳥とのこと。電子辞書で調べると“よく鶴とまちがえられる”と書いてあり私だけではなくて良かったと、勝手に安堵しています。